

発電所ホームページにおけるMOX燃料取扱エリアの放射線線量率の公開について

平成 21 年 5 月 18 日

当社は、浜岡原子力発電所4号機で平成22年度から計画しているプルサーマル計画に関連し、平成20年3月31日に静岡県から要請事項を受領しました。

この要請の中で『情報公開の徹底』の一つとして、発電所ホームページのリアルタイムデータ(※1)に、MOX燃料を取り扱うエリアの放射線線量率(※2)データを追加することを、平成20年5月28日に他の要請に対する回答と合わせて静岡県に報告しました。

(平成20年5月28日お知らせ済み)

このたび、準備が整ったことから、MOX燃料を取り扱うエリアである、「4号機原子炉建屋最上階」および「キャスク置場(※3)」の放射線線量率について、本日、発電所のホームページで公開を始めましたのでお知らせします。

公開画面：<http://www.chuden.co.jp/hamaokastate1/RealMOX.html>

- ※1 リアルタイムデータとは、発電所の運転状況を示す発電機出力、排気筒モニタ等の値をリアルタイムで公開しているものです。
- ※2 放射線線量率とは、放射線が人体の組織に及ぼす効果・影響を定量的に扱うための尺度です。
- ※3 キャスク置場とは、発電所で使用した原子燃料を入れた容器(キャスク)を再処理工場へ輸送する前に一時的に保管する建物です。MOX新燃料を入れたキャスクもこの場所に一時的に保管します。

以 上